

第11回排水処理技術セミナー

主催：静岡県資源環境技術研究会、静岡県環境保全協会、静岡市環境保全推進協力会
共催：静岡県工業技術研究所

排水処理技術は企業の生産活動に無くてはならない技術ですが、情報収集の場が限られているのが現状です。本セミナーは、排水処理の基礎技術から最新技術までをカバーする情報提供の場として平成24年度に初めて開催され、今年度で11回目を数えます。「withコロナ時代」に対応するためWeb会議システムを利用した配信により開催します。

今回は、排水処理の原点に帰って、「活性汚泥法の基礎とトラブル対策」というテーマでセミナーを開催します。活性汚泥法の基礎から応用までをご紹介しますので、「活性汚泥法の基本から最新技術まで」を勉強したいと考えている方は、奮ってご参加下さい。

日時 令和4年9月26日(月) 13:30～16:40

会場 Web 会議システムによる配信(詳細は裏面参照)

定員 100名(定員になり次第締め切ります)

**参加費
無料**

プログラム(開始:13:30)

■ 講演1 : 13:35 ~ 15:05 (90分) 質疑応答:15:05~15:15(10分)

「活性汚泥法の基本のキホン」

講師：公立大学法人宮城大学・名誉教授 静岡県立大学・客員教授

(独)環境再生保全機構 環境研究総合推進費 プログラムオフィサー (PO)
工学博士 岩堀 恵祐 先生

活性汚泥法の誕生とその史的背景を先ず紹介します。次に、活性汚泥法の原理(微生物による污水浄化の仕組み)や維持管理指標、効率的な運転管理方法、活性汚泥処理障害の事例やその対策など、“活性汚泥法の基本のキホン”を概説します。

■ 講演2 : 15:25 ~ 16:25 (60分) 質疑応答:16:25~16:35(10分)

「好気性生物処理の動向について」

講師：オルガノ株式会社 技術開発本部 開発センター 排水・薬品グループ
油井 啓徳 先生

排水中に含まれる有機物を微生物が酸素を利用して分解する好気性生物処理について、代表的な標準活性汚泥法から担体を用いた生物膜法、膜分離活性汚泥法まで網羅的に説明し、各処理方法の組み合わせや産業排水への適用事例、トラブル時の対処方法を紹介します。

また、排水中の窒素を生物学的に処理する硝化脱窒処理の基礎とともにグラニューール技術を活用した高速窒素処理方法について紹介します。

開催要項

●セミナーの配信には、静岡県工業技術研究所の Web 会議システム (Cisco Webex Meetings) を利用しております。ブラウザでもご視聴いただけますが、安定した視聴には専用のデスクトップアプリの使用をお勧めします。アプリのインストールや視聴方法は以下の URL をご参照下さい。
URL: https://www.iri.pref.shizuoka.jp/wp/wp-content/uploads/2022/02/webkaigi_annai-2.pdf

●申込×切り後に、視聴に必要な招待メールをお送りします。

●お申込みの際は、必ず E-mail アドレスをご記入ください。

●各講演は、所定の時間帯のみ配信しております。配信時間をご確認のうえ、予定の時間になりましたらご参加下さい。

お申込み

先着順受付

申込期限:令和4年9月16日(金)

申込先:静岡県環境保全協会 事務局(担当:繁村、畔柳)

問合せ:054-254-9663(TEL)

必要事項 《①住所、②会社名、③電話番号、④参加者の氏名・所属・役職・E-mail》を明記の上、下記の3つのいずれかの方法でお申込下さい。

1 申込フォーム	右記申込フォームよりお申込みください。
2 E-mail	saep-mtoy07@topaz.ocn.ne.jp
3 FAX	054-254-9693

申込フォーム ⇒



<https://form1ssl.fc2.com/form/?id=7e63b664322aeea5>

FAX ⇒ 静岡県環境保全協会 事務局 宛

参加申込書			
住所	〒		
会社名			
電話番号			
参加者	氏名	所属・役職	
	E-mail		
参加者	氏名	所属・役職	
	E-mail		
参加者	氏名	所属・役職	
	E-mail		

※定員になり次第締め切らせていただきます。

※参加票はありません。申込期限後、9月20日以降に招待メールを送ります。

※ご記入いただいた個人情報は、当セミナー開催に関する目的以外に利用することはありません。